

講義番号		授業科目名	法人税法特論 B		担当教員	谷山 仁彦						
		英語授業科目名	theory of corporate income tax		単 位	2	学 期	後期				
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし		他との関連							
履修条件	なし											
テーマ・副題												
授 業 の 教育目的 ・ 目 標	法人税法に関する基礎理論を修得させる。											
授 業 の 理解度の 到達目標	論文作成に資する法人税法の諸問題を判例・学説を通じて習得する。											
授業キーワード												
授業の内容	法人税法の基本的な構造・歴史等について、学術的観点から分かりやすく講義する。											
授業の方法	法人税法特論 A（前期）で習得した判例紹介に基づき、履修生が発表し、その後に解説をする。受講する学生が順番に発表する方法をとる。											
授業展開	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. 発表 2. 発表 3. 発表 4. 発表 5. 発表 6. 発表 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;"> </td> <td style="width: 40%; vertical-align: top;"> 7. 発表 8. 発表 9. 発表 11. 発表 12. 発表 13. 発表 14. 発表 15. 発表 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;"> </td> </tr> </table>								1. 発表 2. 発表 3. 発表 4. 発表 5. 発表 6. 発表		7. 発表 8. 発表 9. 発表 11. 発表 12. 発表 13. 発表 14. 発表 15. 発表	
1. 発表 2. 発表 3. 発表 4. 発表 5. 発表 6. 発表		7. 発表 8. 発表 9. 発表 11. 発表 12. 発表 13. 発表 14. 発表 15. 発表										
成 績 評価方法	課題の発表内容（60％）及び授業への取組み姿勢（40％）を評価要素とする。											
成 績 評価基準	総合点が 80 点以上を A，79～70 点を B，69 ～60 点を C，59 点以下を D とする。											
テキスト	①金子宏『租税法（第 24 版）』（弘文堂） ②租税判例百選「第 7 版」ジュリスト No.253											
参考図書	適宜紹介する。											
準備学習に 必要な時 間、又はそ れに準じる 程度の具体 的な学習内 容	テキスト（金子宏『租税法（第 24 版）』（弘文堂））の中にある次回授業の該当箇所を熟読すること。											
学生への メッセージ	前期法人税特論で習得した知識を生かし、金子宏『租税法（第 24 版）』（弘文堂）及び租税判例百選「第 7 版」ジュリスト No.253 等（参照する裁判例はテキスト以外でも構わない）にある裁判例を題材に発表する。											
オフィスアワー	授業前後の時間											
連 絡 先	電話番号	0274-42-2828(内線：5504)		メールアドレス	taniyama@jobu.ac.jp							
人数制限	なし											